

テレコミュニケーションやテクノロジー、航空業界の リーディングカンパニーが 「HAPS アライアンス」を立ち上げ

～成層圏の活用を通して、人々や場所、モノにインターネット通信を
届けることを目指して結束～

テレコミュニケーションやテクノロジー、航空業界における世界のリーディングカンパニーが結束して、「HAPS アライアンス」を立ち上げます。「HAPS アライアンス」は、世界中のより多くの人々や場所、モノにインターネット通信を届けることを目指し、成層圏から通信ネットワークを提供するシステム HAPS (High Altitude Platform Station) 技術の活用を促進する企業で構成されています。

本日時点の「HAPS アライアンス」への参加表明メンバーは、ソフトバンク株式会社の子会社である HAPS モバイル株式会社 (以下「HAPS モバイル」) と米 Alphabet Inc. の子会社である Loon LLC (以下「Loon」)、AeroVironment, Inc. (以下「AeroVironment」)、Airbus Defence and Space、Bharti Airtel Limited (以下「Bharti Airtel」)、China Telecom Corporation Limited (以下「China Telecom」) Deutsche Telekom AG (以下「Deutsche Telekom」)、Telefonaktiebolaget LM Ericsson (以下「Ericsson」)、Intelsat US LLC (以下「Intelsat」)、Nokia Corporation、ソフトバンク株式会社、Telefonica S.A. (以下「Telefonica」) の 12 社です。

「HAPS アライアンス」は、高高度飛行体を活用したインターネット通信の提供を促すための各国の規制当局などに対する働き掛けや HAPS 向け製品の仕様の定義、HAPS 技術の相互運用に向けた標準化活動などにおいて協力していくことを目的に発足します。これらの活動は、高高度通信ネットワークやその飛行体の活用によって世界中にインターネット接続環境を構築し、多様な社会課題の解決や価値の創造を目指す「HAPS アライアンス」にとって重要なものばかりです。「HAPS アライアンス」は、主導する HAPS モバイルと Loon を中心に、テレコミュニケーションやテクノロジー、航空業界における世界のリーディングカンパニーをメンバーとして各活動を推進していきます。

この「HAPS アライアンス」の発足は、HAPS モバイルと Loon が 2019 年 4 月に発表した長期的な戦略的関係構築の一環として実現したものです。

HAPS は、地上インフラより上空で、かつ人工衛星の下に位置する成層圏で運用されます。地上における混雑や重大な遅延を避け、山岳部や海上、離島、発展途上国など、通信ネットワークが整っていない場所や地域に、安定したインターネット接続環境を構築することができます。これらの利点によって IoT や 5G のみならず、通信を必要とする人々にモバイルネットワークを提供する有望なソリューションとなります。

「HAPS アライアンス」は、各社の強みと技術を生かして協力し、次世代のグローバル通信インフラを提供し、世界のモバイルネットワークに革命を起こします。

ソフトバンク株式会社の代表取締役 副社長執行役員 兼 CTO で、HAPS モバイル株式会社の代表取締役

社長 兼 CEO の宮川 潤一は、次のように述べています。

「世界のテレコミュニケーションや航空業界の多くのリーダーたちが、HAPS の活用によって世界をインターネットでつなぎ、多様な社会課題の解決や価値の創造を目指す私たちのミッションに賛同してくれることに大変勇気づけられています。同志の『HAPS アライアンス』のメンバーと共に、HAPS の技術を活用したソリューションのさらなる発展を推進していきます」

Loon LLC の CEO である Alastair Westgarth は、次のように述べています。

「成層圏は、世界中のより多くの人々にインターネット通信の恩恵をもたらす上で、大きなチャンスとなります。これを成功させるためには、互いに協力して技術面でコラボレーションすることが必要不可欠です。この『HAPS アライアンス』は、業界構築という観点で、世界中の人々をつなぐ上での重要な第一歩となります」

AeroVironment の CEO である Wahid Nawabi は、次のように述べています。

「成層圏をグローバルな財産として人類のために有効活用することは、国境や言語を超えた目標であり、AeroVironment が何十年も目指してきた目標です。『HAPS アライアンス』のメンバーと共に、革新的な HAPS 技術を活用したエコシステムを構築し、グローバルなインターネット通信の提供の実現を目指します」

Airbus Defence and Space の CEO である Dirk Hoke は、次のように述べています。

「HAPS のシステムは、人工衛星や UAV (Unmanned Aerial Vehicle、無人航空機) を補完する役割として、成長する市場の一翼を担っています。業界をまたいだ形で HAPS のエコシステムを構築するのは、HAPS 市場のさらなる成長のためにとっても合理的であると言えます。安定した飛行が保証されている飛行体があることは 1 歩目のステップです。さらに、その飛行体を運用することができる、共通した基準を持って構築されたエコシステムがあれば、成層圏から HAPS サービスを提供して、世界中のポテンシャルを開放することにつながるでしょう」

Bharti Airtel の CEO である Gopal Vittal は、次のように述べています。

「先進的な『HAPS アライアンス』の一員になれることを大変光栄に思います。世界中の人々をつなぐために、実現可能なエコシステムを『HAPS アライアンス』のメンバーと協力して構築していきます」

China Telecom のバイスプレジデントである Chen Yunqing は、次のように述べています。

「HAPS の最大の意義は、通信ネットワークが整っていない場所や地域に、安定したインターネット接続環境を構築することにあると考えています。その他にも HAPS は、既存の通信インフラが機能しなくなるなどの緊急時に、コミュニケーションサービスの役割を果たすことができます。『HAPS アライアンス』に加わり、HAPS の技術を活用したより良いインターネット通信接続や緊急時の備えを推進していけることを光栄に感じています」

Deutsche Telekom の取締役である Claudia Nemat は、次のように述べています。

「高高度通信ネットワーク接続のプラットフォームは、通信ネットワーク網の拡大や、通信ネットワークが整っていない場所への橋渡しをする上で革新的な手段です。Deutsche Telekom は、世界中をつなぐというビジョンの実現のために、通信接続サービスの提供に係る知見を活用しながら、『HAPS アライアンス』のメンバーと協業できることを誇りに思います」

Ericsson のシニアバイスプレジデント、グループ CTO である Erik Ekudden は、次のように述べています。

「Ericsson は、全てがつながった世界の実現に向けた革新や技術、持続可能なビジネスソリューションを推進しています。5G によって、Ericsson はモバイルのプラットフォーム領域を、お客さま個人から業界

や企業にまで拡大させていきます。『HAPS アライアンス』に集まったテレコミュニケーションや航空業界のリーディングカンパニーが持つ最新鋭の技術によって、インターネット接続環境の範囲をさらに拡大させます。」

Intelsat の CEO である Stephen Spengler は、次のように述べています。

「Intelsat は、『HAPS アライアンス』の一員になることに大変喜んでおり、この革新的な技術の推進につながる、業界の枠を超えた連携を楽しみにしています。Intelsat は人工衛星技術の先駆者として、HAPS や成層圏について、どれだけ厳しい環境でも人々やデバイスをつなぐという目標に向けてさらに前進できる素晴らしい機会であると考えています。この目標を達成するのに大切なのは、共通化された基準の構築や相互運用、規制の策定に向けた提唱です」

Nokia Enterprise のプレジデントである Kathrin Buvac は、次のように述べています。

「ノキアは、世界中をつなぐ技術を開発しています。Loon と HAPS モバイルとの協力や、『HAPS アライアンス』への参加は、それをさらに強調します。私たちが持つスキルや専門性、技術を組み合わせて、高高度通信ネットワークの構築に伴う課題の解決に協力し、インターネット通信のないエリアをつなぐという『HAPS アライアンス』の目標に貢献します。発展した LTE のネットワークと、その後に来る 5G のネットワークによって、インターネット通信がない地域やコミュニティに対して、経済的・社会的な大きな利益を提供することができると考えています」

Telefonica の R&D CEO である David del Val は、次のように述べています。

「Telefonica は、世界の情報格差を解決するために数年間取り組んできた中で、地上での対策だけでは不十分であると考えています。ラテンアメリカ地域のあらゆる遠隔地に対して、早期からインターネット通信を届ける取り組みをしている Loon をはじめとする HAPS 事業のパイオニア企業たちと協働してきたことを誇りに思います。世界中の事業者がそれぞれのポテンシャルを最大限発揮できるよう、われわれの経験を生かして『HAPS アライアンス』に貢献していきます。『HAPS アライアンス』は、HAPS のエコシステムを加速し、産業としての発展の手助けになると確信しています」

■ 「HAPS アライアンス」の概要

1. 目的

- ・高高度通信ネットワークやその飛行体の活用によって、世界中にインターネット接続環境を構築し、多様な社会課題の解決や価値を創造する。
- ・テレコミュニケーションや航空業界全体で共通化された基準の構築や、相互運用につながるガイドラインや規制の策定などを通して、HAPS 技術の開発や活用を促進する。
- ・各国の規制当局および官公庁に対する働き掛けにおける企業間の協力を促進する。
- ・HAPS 業界のリーダーたちのビジョンを、他の業界や規制当局、一般に向けてのメッセージとして発信していくために、業界をまたいだ協力を促すフォーラムを構築する。

2. 活動内容

- ・国際電気通信連合の無線通信部門 (ITU) における、高高度 IMT 基地局で使用する周波数の国際標準化活動をはじめとする、HAPS 向け周波数の国際標準化の提唱を行う。また、今後進む 3GPP の非地上系ネットワークなどの商業標準化への働き掛けを行う。
- ・高高度空域における協調的な事業活動を促進する。
- ・将来的・潜在的なお客さまに対して HAPS のポテンシャルを示し、強固で協力的な HAPS エコシステムを構築する。
- ・HAPS 向け製品の仕様の定義、HAPS 技術の相互運用に向けた標準化活動を推進する。

3. ウェブサイト（英語のみ）

www.hapsalliance.org



- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - Loon および Loon の名称、ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Loon LLC の登録商標または商標です。
 - その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
-